

報道資料

2024年4月8日

オンキヨー株式会社 住友ゴム工業株式会社のタイヤの静粛性に関する解析支援のお知らせ

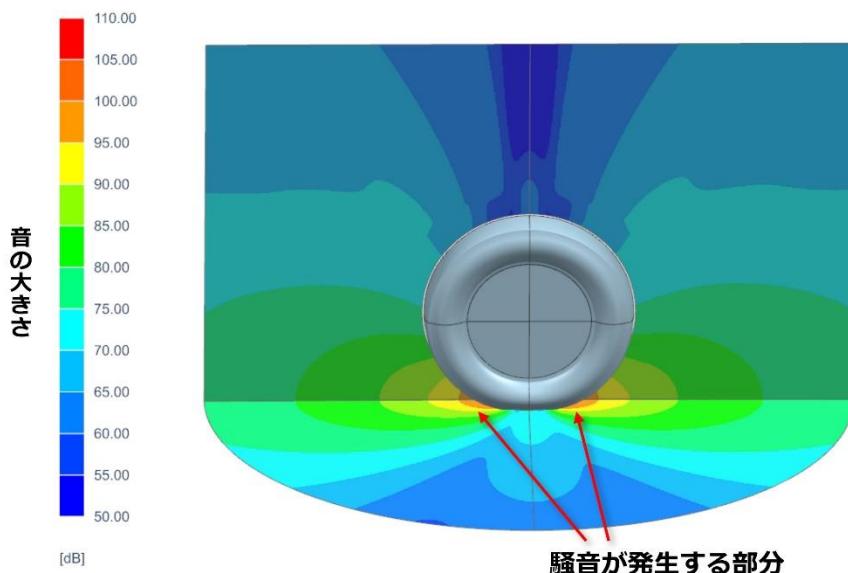
オンキヨー株式会社（所在地：大阪市中央区、代表取締役社長：大朏 宗徳、以下「当社」といいます。）は、住友ゴム工業株式会社（所在地：兵庫県神戸市、代表取締役社長：山本 悟、以下「住友ゴム」といいます。）の業務支援を行いましたことを本日 2024 年 4 月 8 日お知らせ致します。

住友ゴムは、DUNLOP(ダンロップ)・FALKEN(ファル肯)をメインブランドに、乗用車用、トラック・バス用、産業車両用など、暮らしや社会に関わるさまざまなシーンで活躍するタイヤを展開しています。タイヤにおける課題の一つとして、路面とタイヤとの間で発生する騒音があげられます。住友ゴムは、長年にわたり、この課題を解決するためにさまざまな取り組みを行っています。特に、近年、車両のEV化によって、エンジン騒音に隠れていたさまざまな騒音が顕在化したため、タイヤにもこれまで以上に静粛性の向上が求められています。住友ゴムは、騒音に対する取り組みの一環として、タイヤによる騒音の測定・解析を実施しています。

一方で、当社は、長年、Onkyo ブランドのオーディオ製品・スピーカーについて音に関する研究開発を行うとともに、オーディオ製品・スピーカーの研究開発に伴って、音の解析も行って参りました。

このたび、当社は、当社が有する音の解析技術を活かし、住友ゴムが行っているタイヤによる騒音の解析支援を行いました。当社は、タイヤのモデルを作成し、BEM (Boundary Element Method : 境界要素法) を用い、騒音の解析を支援しました。解析においては、タイヤの径・幅等のパラメータを種々変化させ、騒音の発生状況をシミュレーションしております。

タイヤ/路面で発生する騒音レベル分布の可視化例



今後、当社は、Onkyo ブランド製品についての研究開発を行っていく中で培った音の解析技術を進歩させ、音のソリューションとして第三者に提供して参ります。

当社は、Onkyo ブランドのオーディオ製品やスピーカーの技術を支えてきた研究開発部門とマーケティング部門を新設分割し、これまでのオーディオ技術、ノウハウ、ブランドを新分野に展開させるために設立した会社です。当社は、「音で世界をかえる」のスローガンのもと、老舗オーディオメーカーとして長年培った「音」の技術を、医療・食品・産業・インフラの分野に展開して研究開発を進めるとともに、Onkyo ブランドの認知度を上げるマーケティングを全社一丸となって行っています。当社事業の今後の展開に、ご期待下さい。

※このリリースに関するお問い合わせ先※

・報道関係の方：オンキヨー株式会社

　経営企画部 知財法務課 多根：yasuyuki.tane@onkyo.co.jp

※当社では、新型コロナ感染防止のため、テレワークを実施しています。お問い合わせの際は、メールにて担当者までお問合せいただきますよう、よろしくお願ひいたします。

ホームページ：<https://onkyo.net/>

X（旧 Twitter）：https://twitter.com/ONKYO_RD
<https://twitter.com/Onkyo>